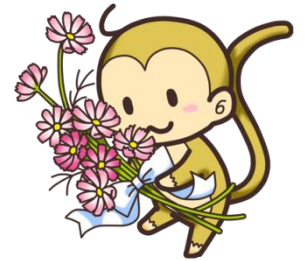


としょかんNEWS 第91号



～秋の特大号～

2014年10月9日
湘北短期大学図書館

読書ノートキャンペーン実施します！

● 読書週間に「読書ノート」を提出するとボーナスポイントがもらえます

毎年10月27日から11月9日までの「読書週間」には、読書の推進を目的とした様々なイベントが行われます。湘北短期大学図書館では、この期間に「読書ノートキャンペーン」を実施します。期間内に読書ノートを提出された方には、下記のとおりボーナスポイントを差し上げます。2ページ以上提出された方には、さらにおしゃれグッズもプレゼントします！

まだ読書ノートをつけたことがない方も、しばらく読書ノートをつけていなかった方も、是非この機会に参加してみませんか？

- | | |
|-----|--|
| ・期間 | 10月27日(月)～11月8日(土) |
| ・内容 | ① ボーナスポイント：1ページ(6冊)につき +20ポイント
② おしゃれグッズ：2ページ(12冊)以上で おしゃれグッズ1点 |

● 読書ノートとは？

図書館では、みなさんが読んだ本についてメモをする習慣をつけることをオススメしています。そのために便利なのが「読書ノート」です。この記録を続けていけば、自分が学生時代にどんな本を読んだか、その本から何を学んだか、どんなところに感動したか、振り返ることができます。また、レポートやゼミの参考文献リストとして活用しても便利！就職活動の際にエントリーシートや面接で自己PRするときにも役立ちます。ぜひチャレンジしてみてください。

● <読書ノート>をポイントに交換するには・・・

- ① 図書館で配布している<読書ノート>に読んだ本の感想を記入してください。
- ② 1シート(6冊)記入したら、カウンターで提示してください。120ポイント付与します。
- ③ 貯まったポイントは、1号館1階の引き換え機で各種チケットに交換できます。

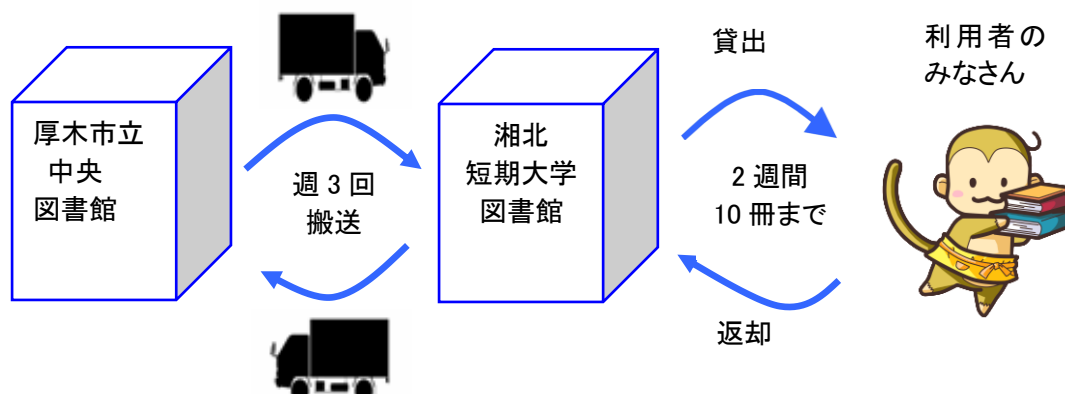
● ポイントの対象になる本については、下の表で確認してください

対象	対象外
・文芸書 (児童文学・詩集・名言集を含む)	・マンガ ・絵本
・実用書	・雑誌 ・写真集
・学術・専門書	・カタログ ・占いの本
・文庫	・資格試験 ・図鑑/事典
・新書	・料理の本 ・旅行ガイド
	・手芸/工作/スタイルブック
	・イラスト/キャラクターブック

知っていますか？ 図書館のサービス

● 厚木市立中央図書館との相互貸借サービス

湘北短期大学図書館では、厚木市立中央図書館の蔵書が簡単な手続きで利用できます。厚木市立図書館の蔵書数は約 60 万冊。本学に蔵書が少ない小説や、エッセイ、文庫本、新刊書なども充実しています。実際に、厚木市立図書館まで行かなくても、本学図書館のカウンターで希望の図書を受け取れるのが魅力です。



● どうやって申し込んだらいいの？

まず、図書館のホームページのかんたん検索「図書館の本を探す」で本学の図書館に所蔵しているかどうかを確認します。所蔵していない場合には「厚木市立中央図書館の本を探す」で厚木市立中央図書館の蔵書を検索します。ここで「状態」と「予約数」をチェックしましょう。貸出中の場合でも予約ができます。予約者数が多い場合は購入希望の申込みをしていただくか、他大学図書館から取り寄せることも可能です。

★ 図書館の Web サービス「マイライブラリ」からお申込みください。

The image shows two screenshots from the library's website. The left screenshot is titled 'かんたん検索' (Simple Search) and shows the search interface. The '図書館の本を探す' (Search for books in the library) section has a search bar and a '検索' (Search) button. Below it, a link for 'マイライブラリへ' (To My Library) is highlighted with a red box. The right screenshot is titled '操作メニュー' (Operation Menu) and shows a list of options. The option '他の図書館から図書を取り寄せる' (Request books from other libraries) is highlighted with a red box.

● 図書館 Web サービス <マイライブラリ>

図書館の Web サービス <マイライブラリ> では、Web 上から①図書の予約、②個人の利用状況の確認、③ILL サービスの申込みが利用できます。例えば、「自宅から図書の予約がしたい」「今、借りている図書の返却日はいつ？」そんなときは、ぜひマイライブラリをご利用ください。

利用者 ID とパスワードは、学内でパソコンにログインするときと共通です(学生・教職員)

- どこにいても図書館の蔵書を検索・予約できます。
- Web 上から自分の利用状況が確認できます。
- Web 上から ILL サービスへの申込みができます。
- 新着図書案内など、図書館からあなたへお知らせが届きます。



2014年度<前期>にみんなが読んだ本 図書館 貸出ランキング!!

集計期間：2014年4月～2014年9月

● 図書部門ベストテン

	資料名	人数
1	わくわくペープサート	14
2	くれよんのくろくん	7
3	にじいろのさかな	5
	4歳児の保育資料12か月	5
	手あそびうたブック	5
	うたって演じて!パネルシアター	5
	かえるのかさやさん	5
	こんもりくん	5
	手軽にできる!ペープサート	5
	阿部恵のとびっきりパネルシアター 他	5

● 視聴覚部門ベストテン

	資料名	人数
1	今日、恋をはじめます	28
	塔の上のラプンツェル	28
3	テッド	19
4	シュガー・ラッシュ	18
	僕等がいた 前篇	17
5	モンスターズユニバーシティ	17
	リトル・マーメイドII	17
	クロユリ団地	16
8	湘北短期大学 保育学科1年	16
	湘北祭パフォーマンス2013	16
10	プリンセスと魔法のキス	15

● 学年別ランキング

<1年生>

	資料名	人数
1	わかりやすいテニスのルール	4
	0歳～6歳子どもの発達と保育の本	4
	Office 2010で学ぶコンピュータリテラシー	3
3	夏と花火と私の死体	3
	青の炎 他	3

<2年生>

	資料名	人数
1	わくわくペープサート	14
2	くれよんのくろくん	7
	4歳児の保育資料12か月	5
3	うたって演じて!パネルシアター	5
	かえるのかさやさん 他	5

● 学科別ランキング

<情報メディア学科>

	資料名	人数
1	青天の霹靂	3
	吹き寄せ読み書きの秘術	3
	アンケート調査の方法	2
3	有頂天家族	2
	日本語リテラシー 他	2

<生活プロデュース学科>

	資料名	人数
1	ディズニーサービスの神様が教えてくれたこと	3
	ディズニーありがとうの神様が教えてくれたこと	3
	面白いほどよくわかる!自分の心理学	3
4	イキイキ!食材図鑑	2
	くれよんのくろくん 他	2

<保育学科>

	資料名	人数
1	わくわくペープサート	14
	くれよんのくろくん	5
	4歳児の保育資料12か月	5
2	手あそびうたブック	5
	うたって演じて!パネルシアター 他	5

<総合ビジネス学科>

	資料名	人数
1	青の炎	3
	教場	3
	虚ろな十字架	3
4	イニシエーション・ラブ	2
	がんばりすぎてしまう、あなたへ 他	2

※ 検定試験テキスト・問題集、雑誌、マンガの貸出冊数は除いています。

昔読んだ本を、また読み返すのが好きだ。一般的にも良く言われる事だが、どんな本でも、読むたびに新しい発見があるからだ。当時の自分が気づかなかった表現の特徴や、思いつきもしなかった物語への疑問点が、次から次へと発見されて、それが快い刺激になる。その本を通して、当時の自分の心持を観察し、年月を経る中で徐々に変化した自分を認識できたような気分になる。例えば学生時代に読んだ本を読み返せば、就職や結婚を経てどのように感じ方が変わったのか、その変化を楽しむ事ができる。

自分の頭にいったんインプットされた情報が、違う価値観、新しい切り口で認識し直され、これまでとは違った様相を呈するのは、そのこと自体が面白い。意外な事実を聞いた時に「へえ～」と感心する、あの体験に似ている。例えば安部公房著『方舟さくら丸』(新潮社、1984年)では登場人物の印象がまるで違うし、福永武彦著『草の花』(新潮社、1954年)などは昔のように主人公に感情移入できなくなった。中井英夫著『虚無へ

の供物』(講談社、1964年)は再読中だけれど、やっぱり未だに良く解らない等。しかし、実はこういった読書に関する「へえ～」という刺激は、同じ作品について誰かと感想を述べ合う事で、簡単に感じる事ができるものなのだ。誰かに自分の気づきもしなかった点を指摘されれば、「へえ～」という刺激になるし、もし感じ方に共通点があれば、それは感覚を共有する喜びになる。しかし私自身、他人と積極的に意見を述べ合う事には苦手意識があったし、学生時代は、読書は一人でするものだと思っていた。ただ単に自分が面白いと感じるものに出会うためだけに読書をしていた。随分もったいない事をしてたものだと、今では思う。周りには、自分に新しい知的刺激をくれる読書人が、探せばたくさんいたはずだ。彼らと読書体験を共有すれば、より多くの知的な刺激、豊かな読書経験につながっただろう。

独りで読書する楽しみはもちろんあるが、より深く読書を楽しむため、時々誰かと読書体験について語り合いたいと、最近思っている。

^{にしこり}錦織圭選手がテニスの全米オープンで準優勝に輝いたことは、歴史に新たなページを刻んだ快挙と讃えられた。錦織選手が8強入りを果たしたとき、「日本人92年ぶり」と報道されたことをご記憶だろうか。それは清水善造という選手が1922年に全米オープンで8強に勝ち進んでいたのだ(『毎日新聞』9月3日付)。その後、準決勝進出が決まったときには「日本男子96年ぶり」と伝えられた。また、そのとき「テニス4大大会日本男子最高成績」として、「熊谷一弥 全米4強1918」「清水善造 ウィンブルドン4強1920」「佐藤次郎 全仏4強1931、1933/ウィンブルドン4強1932、1933/全豪4強1932」と紹介された(『毎日新聞』9月4日付夕刊)。

この3名のうち、清水善造と佐藤次郎は、私の郷里・群馬県の出身であり、清水の方は私の母校・高崎高校の前身・高崎^{みのわ}中学の出身である。清水は榛名山麓の群馬郡箕輪村(現・高崎市箕郷町)に生まれた。中学5年間は、牛の世話—特に牛に与える草を鎌で刈る作業により手首が鍛えられ、また朝の牛乳配達と夕方には牛乳瓶の回収、毎日徒歩通学することにより、その距離は約30^キに達し、それにより強靱な足腰が作られていったという(「伝説を生む男 清水善造」(『翠巒の群像』所収、高崎高校、1998年)。

さて、清水には美談として伝えられるエピソード

があり、それは戦前期の教科書から登場する。ここでは『国語五年生 上』(学校図書、1950年)に収録の「やわらかなボール」を紹介したい。ときは1920年6月、ウィンブルドンの準決勝で、清水がビル・チルデン(アメリカ)と対戦したときの出来事である。「チルデン選手はかた足をふみすべらせてしまって、いまにもころびそうになりました。(中略)おうえんの人々も、もうあきらめている時でした。清水選手は、ボールをやわらかくして、しかも受けやすいところに、送ってやったではありませんか」と綴られている。そして、この記述の淵源は矢島鐘二著『スポーツマンの精神』(宝文館、1924年)にある。矢島の執筆の意図、教科書に採択された理由、清水の思いについては、上前淳一郎著『やわらかなボール』(文芸春秋、1982年)において、詳細に解き明かされているので、ここでは割愛する。

ただ、一言しておきたいことは清水のコートマナーは称賛に値するものだったようだ。私の在校中、^{たかたか}高高生(高崎高校生)はライバルの^{まえたか}前高生(前橋高校生)から「山猿」呼ばわりされていた。清水のマナーの良さは真逆である。しかし、このたび『高崎高校百年史』を紐解いたところ、私たちの時代は、昭和後期Ⅱ(昭和44年～63年)として^{のつけ}「乗附の山猿」(乗附は所在地名)と位置づけられていて、私は思わず笑ってしまった。